

LFJ新潟2012出演アーティストのプロフィール

オーケストラ&合唱



ムジカ・ヴィーヴァ / アレクサンドル・ルーディン 指揮 / ロシア

ムジカ・ヴィーヴァ(室内オーケストラ)

20年以上の歴史を誇るモスクワの室内オーケストラ。バッハ以降の広いレパートリーの内、特に格林カやアリアビエフ等ロシア系を得意とする。2000年よりムジカ・ヴィーヴァ国際室内楽音楽祭「Dedication」をトレチャコフ・ギャラリーで開催。



モスクワ大司教座合唱団 / アナトリー・グリンデンコ 指揮 / ロシア

モスクワ大司教座合唱団(アカペラ合唱団)

1983年創設。慣習に従い12~13名の男性歌手で構成されている。ロシア正教典礼音楽から民衆歌、ソ連時代の声楽曲まで広いレパートリーを誇り、チャイコフスキーやラフマニノフの合唱曲も度々取り上げている。欧米ではソ連解体後に国際的評価を得た。



新潟市ジュニアオーケストラ / 上野正博 指揮 / 日本

新潟市ジュニアオーケストラ

1980年から活動している新潟市唯一の青少年オーケストラ。“初心者でも基礎から指導し、オーケストラメンバーを育てる”という、全国的にもきわめてユニークな育成方式を取り入れている。新潟市音楽文化会館を会場に練習を行い、毎年9月の定期演奏会、3月のスプリングコンサートをりゅーとぴあで開催。

室内アンサンブル



ツェムリンスキー弦楽四重奏団 / チェコ

フランチシェク・ソウチェック(ヴァイオリン) / ペトル・ストジージェク(ヴァイオリン) / ペトル・ホルマン(ヴィオラ) / ウラジミール・フォルテン(チェロ)

1994年に結成。ラサール、ターリヒ、プラハなど高名なカルテットから指導を受ける。2010年ポルドー国際室内楽コンクール優勝。録音にも積極的で、スークの弦楽四重奏曲全集やドボルザーク初期の弦楽四重奏曲集等、多数のディスクをリリースしている。

室内アンサンブル（続き）



トリオ・ショーソン(ピアノ三重奏) / フランス

フィリップ・タレク(ヴァイオリン) / アントワーヌ・ランドウスキ(チェロ) /
ボリス・ド・ラロシュランベール(ピアノ)

2001年結成。パリ国立高等音楽院にてエマルの室内楽クラスで1等賞獲得。2005年ヨアヒム室内楽コンクール優勝。2011年よりスイス・グローバル・アーティストック財団より支援を受けている期待の若手トリオ。グループ名は仏の作曲家ショーソンに因む。



ボロディン弦楽四重奏団 / ロシア

ルーベン・アハロニアン(ヴァイオリン) / アンドレイ・アブラメンコフ(ヴァイオリン) /
イーゴリ・ナイディン(ヴィオラ) / ウラディーミル・バルシン(チェロ)

1945年にモスクワ音楽院で結成。現在活動中の弦楽四重奏団のうち最長のキャリアを誇る。十八番はショスタコーヴィチの他、ベートーヴェン、シューベルト、プロコフィエフ、ボロディン、チャイコフスキー等。バシムメット、エツェンバッハ、レオンスカヤらと共演。

指揮者



アナトリー・グリンデンコ / ロシア

ウクライナ出身。モスクワ音楽院卒業後、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者として活躍。1983年に至聖三者聖セルギイ大修道院にて合唱団を立ち上げ、古くから伝わるロシア正教声楽曲の復元・演奏に励む。1985年よりモスクワ大司教座合唱団との活動を開始。



アレクサンドル・ルーディン / ロシア

(ムジカ・ヴィーヴァを指揮)

チェロ奏者、指揮者、編曲者、教育者として活躍。グネーシン音楽学校・モスクワ音楽院卒。バッハ国際、カサド国際、チャイコフスキー国際コンクール優勝。ムジカ・ヴィーヴァと共に知られざる作品の演奏に取り組み、ペルトを初め現代作曲家からの信頼も篤い。

指揮者（続き）



上野正博 / 日本

（新潟市ジュニアオーケストラを指揮）

東京藝術大学指揮科卒業。同大学院修了。1994年、東京国際音楽コンクール・指揮部門「入選」。1996年ベルリン芸術大学に留学後、「ベルリン・ドイツ・オペラ」の指揮研究員として研鑽を重ねる。1998年ミトロプーロス国際指揮者コンクールに最高位（1位なし2位）入賞。都響、読響、東フィル、東響を始め、国内主要オケを指揮。特に群響とは10余年に渡り定期的に共演している。

ピアノ



© Carole Bellaiche

アンドレイ・コロベイニコフ / ロシア

1986年モスクワ生まれ。モスクワ音楽院、英国王立音大で学ぶ。2004年スクリャービン国際コンクール優勝、2005年ラフマニノフ国際コンクール2位。アシュケナージ、マカルらと共演。エスペラント語など四か国語を操り、司法試験にも合格するなど多才。



©Eric Manas

エマニュエル・シュトロツセ / フランス

ストラズブール出身。パリ国立音楽院にてJ-C. ペヌティエ、C. イヴァルディ、M. J. ピリスらに師事。フィレンツェ国際室内楽コンクール、クララ・ハスキル・コンクール入賞。C. デゼールとのデュオはLFJ常連となっている。



©Vincent Garnier

クレール・デゼール / フランス

14歳でパリ国立音楽院に入学。室内楽およびピアノクラスにて一等賞を獲得。修士課程修了後チャイコフスキー音楽院に留学、さらにパリ国立音楽院修士課程にて室内楽の研鑽を積む。LFJでも優れた室内楽奏者の一面を毎年披露している。

ピアノ（続き）



©Wataru Nishida

小山実稚恵 / 日本

チャイコフスキー、ショパンの二大国際コンクールに入賞した日本人唯一のピアニスト。12年24回リサイタルシリーズ「小山実稚恵の世界」を全国7都市で開催中。最新CDは26枚目の「ヴォカリーズ」。本年秋にはフェドセーフ指揮モスクワ放送響と日本ツアーを行う。



©David Crookes-Warner

ボリス・ベレゾフスキー / ロシア

モスクワ音楽院卒。1990年チャイコフスキー国際コンクール優勝。超絶技巧と力強さ、独自の洞察力和豊かな感性を兼ね備えた才能あふれる音楽家として高い評価を得ている。ミュンヘン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロンドン・フィル等世界的オーケストラと度々共演。



© Carole Bellaiche

リディア・ビジャーク & サンヤ・ビジャーク(ピアノ・デュオ) / セルビア

ベオグラード出身の姉妹デュオ。パリ国立高等音楽院卒。2005年、同音楽院アヴァン・セヌ・コンクール優勝、ミュンヘン国際コンクール特別賞。フランス国立管、トゥールーズ・キャピトル管等と共演。最新CDはストラヴィンスキーの作品集(MIRARE)。



成嶋志保 / 日本

東京音楽大学付属高校、パリ・エコール・ノルマル音楽院、イタリア・イモラ音楽院、フランス国立リヨン音楽院大学院で学ぶ。ウィーン音楽コンクール・イン・ジャパン、UFAM室内楽コンクールで受賞。ソリストとして大阪ABC新人演奏会、ロックダンテロン・フェスティバル等に出演、コントラバス奏者河原泰則氏、テノール歌手ジョゼフ・カレイア氏との共演など室内楽の分野でも演奏多数。現在、国立ニューカレドニア音楽院でピアノ教授、伴奏者を務めるかたわら、ソリスト、室内楽奏者として演奏活動を精力的に続けている。ヌメア在住。



© Yuji Hori

川久保賜紀 / 日本

2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位入賞。01年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝以来、国際的に活躍。出光音楽賞、エヴリー・フィッシャー賞、ワシントン・アワード受賞。最新CD「ライブ・イン・ワシントン」。ベルリン在住。



ドミトリ・マフチン / ロシア

1975年 Санктペテルブルク生まれ。97年スヴェトラノフ指揮ロシア国立響とのパリ・デビューや98年スラトキン指揮クリーヴランド管との米国での共演で国際的評価を確立。ザルツブルクやマントン、ラジオ・フランス・モンペリエ等の音楽祭より招かれている。

NO PHOTO

ナタリア・ユキムチュク / ロシア

NO PHOTO

ヤーナ・ネウストロエヴァ / ロシア

ヴァイオリン (続き)



枝並千花 / 日本

桐朋学園大学卒業。第52回全日本学生音楽コンクール中学生の部全国第1位。東儀賞、兎束賞、都築音楽賞受賞。第10回日本モーツァルト音楽コンクール第3位。第24回ミケランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール第1位、及びソナタ賞受賞。ソリストとして、「井上道義の上り坂コンサート」(神奈川県立音楽堂主催)において井上道義指揮、桐朋学園大学オーケストラ、大友直人指揮、東京交響楽団等と共演。2006年4月、東京交響楽団に入団。退団後、09年にはCHANEL Pygmalion Days のアーティストに選ばれ一年間ソロコンサートを行うほか、国内はもとよりミラノ、ソウル等、海外でも演奏活動を行なう。奥村和雄、辰巳明子各氏に師事。09年5月、デビューCD「夢のあとに」(マ・レコーディングス)をリリース



奥村愛 / 日本

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。第48回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部第1位、第68回日本音楽コンクール第2位、他受賞多数。各地でのリサイタルをはじめ、国内外のオーケストラとも多数共演。親子向けコンサートなども積極的に展開中。TV・ラジオ出演も多く、多彩な活躍で注目されている。2010年11月に最新CD「ラヴェンダーの咲く庭で」をリリース(エイベックス・クラシックス)。



鍵富弦太郎 / 日本

新潟市に生まれる。りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館の開館記念の「ガラ・コンサート」にて、東京交響楽団と共演。全日本学生音楽コンクールヴァイオリン部門東京大会第1位桐朋女子高等学校音楽科に進学、第72回日本音楽コンクールヴァイオリン部門第1位。レウカディア賞、鷲見賞、黒柳賞受賞調布市芸術功労賞受賞。高校在学中にビクターエンタテインメントよりCDデビュー。「ヴィヴァーチェ」「歌い出した鳥」2枚のCDがリリースされている。サンクトペテルブルグの音楽祭に招かれるなど、国内外問わず色々な楽器との共演も意欲的に取り組んでいる。現在は辰巳明子氏に師事。

ヴィオラ

NO PHOTO

アンドレイ・コロモエツ / ロシア

チェロ



アレクサンドル・ルーディン / ロシア

(ムジカ・ヴィーヴァを指揮)

チェロ奏者、指揮者、編曲者、教育者として活躍。グネーシン音楽学校・モスクワ音楽院卒。バッハ国際、カサド国際、チャイコフスキー国際コンクール優勝。ムジカ・ヴィーヴァと共に知られざる作品の演奏に取り組み、ペルトを初め現代作曲家からの信頼も篤い。



© Jean-Philippe Raibaud

アンリ・ドマルケット / フランス

パリ国立高等音楽院にてジャン・ドロン、フルニエ、トルトゥリエに、米国でシュタルケルに師事。メニューインの指揮でプラハ・パリにて演奏。現代音楽にも造詣が深い。使用楽器は1697年製Goffredo Cappa、使用弓は1820年製Persois。

NO PHOTO

エミン・マルティロシアン / ロシア



横坂源 / 日本

1986年生まれ。2010年ミュンヘン国際コンクールで第2位受賞。2002年第5回全日本ビバホール・チェロコンクールに史上最年少で第1位受賞。桐朋学園音楽部門創立50周年記念演奏会で小澤征爾と共演。第15回出光音楽賞受賞。現在、シュトゥットガルトで、ジャン・ギアン=ケラスに師事。

フルート



小山裕幾 / 日本

1986年生まれ。2004年第73回日本音楽コンクールフルート部門第1位、岩谷賞(オーディエンス賞)、加藤賞、吉田賞を受賞。2005年第6回神戸国際フルートコンクールに日本人としては初めて第1位を受賞する。これまで三上明子、ヴォルフガング・シュルツ、パウル・マイゼン、堀井恵、ハンスゲオルグ・シュマイザー、オーレル・ニコレの各氏に師事。2006年度第17回出光音楽賞受賞。2010年慶應義塾大学工学部を卒業。現在、バーゼル音楽院(スイス)にてフェリックス・レングリ教授に師事。

民族楽器・その他



テレム・カルテット / ロシア

アンドレイ・コンスタンチーフ(ソプラノ・ドムラ)

アレクセイ・バルショフ(アルト・ドムラ)

アンドレイ・スミルノフ(バヤン)

ミハイル・ジューゼ(コントラバラライカ)

2011年に25周年を迎えたロシア民俗楽器集団。テレムとは「美しい夢」の意。1990年ロシア民族楽器奏者コンクール優勝。アコーディオンのような鍵盤楽器バヤン、マンドリンのような弦楽器ドムラ(2種)、三角形の巨大な弦楽器コントラバラライカから成る。